

第2学期始業式

H 2 7 . 8 . 2 8

○ 1学期の終業式では

1 自己評価

「自らを主とせよ」「自己決定の力を高めること」

2 国際化・グローバル化

「自分の意見を持つということ」

「意見を発信できること」

※ 同じモノを大量生産する時代は20世紀とともに終了

○ 8月19日から2泊3日で岩手県 大塚PTA会長と全国大会

・宮沢賢治「生徒諸君に寄せる」

中から抜粋して言葉をいくつか紹介する 目をつぶって言葉に集中して聞くよう

「生徒諸君 諸君はこの颯爽たる諸君の未来圏から吹いて来る透明な清潔な風を感じないのか それは一つの送られた光線であり 決せられた南の風である」

「諸君よ 更にあらたな正しい時代をつくれ」

「新しい時代のコペルニクスよ 新たな時代のマルクスよ 新しい時代のダーウィンよ おほよその統計に従はば諸君の中には少なくとも千人の天才がなければならぬ 素質ある諸君はただにこれらを刻み出すべきである」

○ 「諸君の中の千人の天才」

「天才」とは諸君の中にある、未来に向かっていく千の可能性

・可能性を伸ばそうとする時の大敵は「言い訳」

－「部活で時間がなくて勉強ができない」

－部活動に一生懸命な自分だけに自己満足していないか

－「どうせやってもできない」

－本気で分かろうとしているのか

○ 「白竜千里旗」

・本校生の可能性（自分の中の「千人の天才」）のシンボル

・課題を乗り越え目標まで駆け抜ける瞬発力と持久力

※自己点検を踏まえて、さらに意識を新しくして2学期のスタートとすること